

笠間市社会福祉協議会

北川根支部だより

第146号

発行日
発行
編集
印刷令和4年 1月15日
笠間市社協北川根支部
北川根支部広報委員会
(株)シーエス

明けましておめでとうございます。
会員及びご家族の皆様におかれましては、お揃いで新年をお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。
昨年は、新型コロナウイルス感染症で、日常生活が制限されるなど多岐にわたって翻弄された年でした。
茨城県も、1月中旬から2月下旬まで独自の緊急事態宣言、8月中旬から

支部長
鈴木 裕

迎春万歳

9月末まで政府より緊急事態宣言発布。その間、社協活動は皆無でした。支部委員さんのみで開催された代議員会で予定された支部の行事が全て中止になり現在に至っております。ワクチン接種状況が70%を越えて感染状況が減少傾向になってきています。しかしワクチン接種したからと安心することなく、「第6波」に備えるためにも、○身体的距離の確保 ○マスク（不織布用）

女性支部長
水庭 ちさい

明けましておめでとうございます。
住民の皆様におかれましては、何事もなく新年を迎えられましたでしょうか。
一昨年に続きコロナ禍がまだまだ落ち付かず外出もままならない一日を過ごしておいでのこと、心も体もストレスでいっぱいだったでしょう。
しかしワクチン接種も進み、

新規感染者も少なくなり、少しずつ以前の生活に戻りつつあります。配食サービスも、コロナ禍で中断する時期がありました。が、昨年9月から再開しました。今後とも、一人暮らしのお年寄りに月一回、配達してまいります。
他にも、今年度は例年通り、研修会、合同茶話会等を企画してまいります。お待ち下さい。
今までの感染予防対策を取り入れながら、安心して生活できますようお祈り申し上げ、新年のごあいさついたします。

の着用 ○手洗いを日常生活で心がけたいです。
すぐに以前の社協活動には戻れませんが、地域に目を向け、地域にお住まいの方々の心を癒せるよう、役員一同、地域福祉向上を展開してまいります。
皆様方にとって最良の年でありますようお祈り申し上げまして新年のあいさついたします。

令和3年度会員会費
ご協力ありがとうございました
ごさいました

「法人会員」
(順不同・敬称略)

石 沢

5,000円

(株)表面化工研究所

3,000円

菅谷車輛整備

湯 崎

5,000円

(株)幸田商店

3,000円

ミニストップ友部湯崎店

住吉本宿

10,000円

陽だまり

3,000円

(株)ホンダカーズ笠間友部店

(株)伊勢甚友部スクエア

小川興業(株)

茨城トヨタ自動車(株)友部店

(株)本田友部支店

花色人

住吉新宿

10,000円

住吉山教住寺

(株)水戸香美運輸

5,000円

(有)加倉井板金工業

随分附本郷

3,000円

(有)鶴田肥料店
鶴田直商店
富田デンキ

柏 井

5,000円

えんまん

キャノンモールド(株)

3,000円

阿内塗装工業

砂川産業(株)水戸店

(株)東洋ヒーター技術製作所

5,000円

(株)スガヤ工務店

(株)三栄製作所

友光エンデニアリング(株)

セイコーマートおぬまや店

長 兎 路

5,000円

ジャパンテック(株)

3,000円

(株)玉越工業

(株)筑波エレクトロン

ヘアーサロン・イノ

赤津歯科

(有)野口組

水戸屋建設(株)

(株)赤津電気

ボディーショップモチマル

(株)鶴町製作所

5,000円

芳野工業(株)

令和3年度 北川根支部会員会費報告

地区名	法人	特別	一般	会員	合計
石 沢	2	0	46	48	54,000
田 向	0	0	10	10	10,000
湯 崎	2	0	24	26	32,000
住 吉 本 宿	7	1	124	132	155,000
住 吉 新 宿	3	0	76	79	101,000
随分附本郷	3	5	36	44	60,000
随分附笠松	0	0	16	16	16,000
柏 井	5	0	39	44	58,000
柏 井 団 地	0	0	21	21	21,000
旭 丘	0	0	3	3	3,000
仁 古 田	4	0	74	78	94,000
長 兎 路	10	2	94	106	134,000
長 兎 路 3	4	0	31	35	51,000
東 原	5	0	18	23	37,000
西 原	6	1	56	63	81,000
睦 団 地	0	0	58	58	58,000
旭 丘 団 地	1	7	85	93	111,000
住 吉 団 地	0	3	36	39	45,000
みどりの団地	0	0	36	36	36,000
旭 団 地	0	0	90	90	90,000
西 協	0	0	30	30	30,000
長 野	4	0	8	12	27,000
西原住宅班	0	0	3	3	3,000
グリーンウッド	0	0	9	9	9,000
南ヶ丘団地	0	0	7	7	7,000
さわやか班	0	0	11	11	11,000
あさにし班	0	0	16	16	16,000
白 百 合 区	0	0	39	39	39,000
仁古田東部4班	0	0	5	5	5,000
ヴィラウイング	0	0	10	10	10,000
エスポワール	0	0	0	0	0
ベルコスモ	0	0	16	16	16,000
新 西 原	0	0	26	26	26,000
コンフォートタウン西原	0	0	1	1	1,000
合 計	56	19	1,154	1,229	1,447,000

エリアカラオケ第一スタジオ

サン美容室

5,000円

(株)石井鉄工所

茨城中央運輸(有)

3,000円

(株)竹田自動車商会

藤乃家

誠和不動産

5,000円

(有)アサヒハウジング

木下歯科医院

3,000円

古賀建設(株)

白澤左官工業

アオキ石材(有)

旭接骨院

3,000円

セブンイレブン友部旭町西原店

10,000円

常陸クリニック

3,000円

オートクロスミヤザキ

ふせや接骨院

みどり薬局

自分たちの地域は自分たちで守る

―長兎路地区自主防災訓練―

北川根地区のどの行政区においても防災組織が結成されているのではないだろうか。2011年3月の東日本震災後、市の提案を受けて各区とも防災組織を結成したと思います。

長兎路区でも防災組織を結成してなかなか活動の実施までは行かない状況にありました。

茨城県もおよそ30年以内に震度5強の地震が発生する恐れがあるという情報をテレビ等で知りました。地震を想定し、防災組織を活用して、令和3年10月24日に自主防災訓練を実施しました。

市役所の危機管理室のご協力をい



自家水道に発電機をつなぐ



発電機を使い自家水道から給水する

10月24日

いただきました。

次のような訓練をしました。

「防災無線かさま」の放送、消防団第25分団の地区内巡回放送により訓練行動を開始しました。

「ひなん広場設営訓練」↓長兎路構造改善センターに区長・組総代が集まりテント設営をし、本部を設置しました。

「炊き出しでの給食・給水訓練」↓区役員・福祉推進員で、発電機で自家水道可能な家より給水し、危機管理室の職員の指導により非常食の用意をしました。解散時、参加者に持ち帰り試食することをお願いしました。



非常食の用意をする

した。
「区内被害状況調査訓練」↓生産班長（もしくは組総代）が担当（組）の住宅をまわり被害状況を調べ、本部に報告をしました。
「区内火災事故、防火水槽、消火栓の点検」↓消防団第25分団、地区内巡回放送回に点検活動をしました。
「避難誘導訓練」↓各組、事前に周知してある場所に集合し「ひなん広場」に組総代が誘導し、本部に誘導した人数を報告しました。
時間帯によるそれぞれの訓練行動終了後、集会を行いました。
区長の挨拶後、消防団第25分団による、「発電機の説明」「消火器を使用するの消火訓練」、最後に笠間市役所危機管理室、近藤智広主査の講話「防災意識について」を拝聴しました。



消火器を使った消火訓練の様子

防災組織における役員たち役割活動の理解と共に、参加区民に、防災意識を啓発する意義ある自主防災訓練でした。

（鈴木 裕）



最後に「防災意識について」の講話を聞く

わが地域

⑮

「柏井遺跡出土の土板」

新潟県の信濃川流域から出土した火焔（かえん）型土器、長野県茅野市出土の縄文のビーナスや青森県八戸市出土の遮光（しゃこう）器土偶（どこう）など、発見の成果が教科書に掲載されています。

縄文時代の土器文化を知る大きな発見や、交流に関する研究成果により、日本遺産や世界遺産への登録など、縄文の文化への関心が高まっています。

北川根地域では、柏井遺跡から注目すべき「土板」が2個発見されており、改めて紹介します。

1990・平成2年3月に刊行された「友部町史」、口絵のカラページにその姿をみることができます。発見の時期・経緯は明らかではありませんが、個人所蔵となっていたもので、現在は茨城県立歴史館に保管されています。

偶丸方形で高さ15cmのものは破損がなく、女性像とされ、楕円形で高さ13・7cmのものは、一部破損があるものの男性像とされる。用途は、「護符」とされる。（参照「友部町史」第一章原始時代の友部地方 第四節縄文時代の人々のくらし）

この土板が、この地域で作られたものか、また、他の地域から伝わったものかは、まだ分かっていません。



女性像とされる土板の模様

男性像とされる土板の模様

（画像「友部町史」より引用）



男性像とされる土板



女性像とされる土板

以前、横浜在住の研究者が当地の歴史民俗資料館や図書館、現地、歴史館を訪ねられたことがありました。これまでも増して、縄文時代をめぐる新たな発見や交流の研究により、この土板についても大きな注目や再評価がなされる日が訪れるかも知れません。

（枝川良雄）

配食サービスを再開

コロナ禍で中断していた「配食サービス」が9月から再開されたため、10月16日（第3土曜日）に取材しました。社協北川根支部女性部では、毎月一回、一人暮らしのお年寄りに、手作りのお弁当を作り、民生委員さん等の協力でお届けしています。



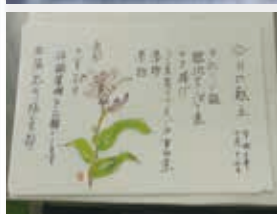
一つ一つきれいに盛り付ける



分担し、手際よく、丁寧に作ります



編集後記 猛威をふるった新型コロナウイルス、日本では昨年10月頃から落ち着き始めた。しかし海外では再拡大し、新たな変異ウイルスも出現したとか。温暖化も含めどうなる令和4年（藤森）



掛け紙は上野昌子さん手作り

ます。最後に容器を並べきれいに詰めていきます。今回の献立は、きのこご飯、鶏肉のさっぱり煮、かき揚げ、さつま芋とりんごの重ね煮、漬物、果物でした。試食させていただきましたが、やさしい味とても美味しかったです。（藤森）



献立を考え、予算の範囲内で買い出しをし、当日は9時頃から作り始めました。場所は社協の調理室。それぞれ分担し手際よく作り